

3) インフルエンザ定点感染症の流行状況：表5～10、図1～4

1999(平成11)年4月より内科定点、15施設が加わり、計38の定点となり10シーズン目となった。2009年の報告数は19,040件(定点当たり501.1)であり、今年度の数を1999年～2008年の10年間の年間平均患者数で除した流行指数も3.14と突出して多かった。1～6月の季節性インフルエンザ期7,689件と7～12月の新型インフルエンザ期11,351件の2つの流行があった。前者の流行も、1999年以降で第3位の多さで、後者は12月末までの数字としては第1位で、流行は2010年にも続いている。なお、ここ10年で最大の流行は2003(平成15)年の9,764件(同256.9)であった。

地区別の報告数は東部(隠岐を含む)7,856件(流行指数4.29、定点当たり患者数643.5)、中部6,118件(同3.35、509.8)、西部5,066件(同2.14、389.7)で、流行は東部、中部、西部の順に大きかった。

新型インフルエンザ(2009年7月以降)のみでは、東部(隠岐を含まない)4,298件(定点当たり390.7)、中部3,927人(同327.3)、西部2,668件(同205.2)、隠岐229件(同229)であった。2次医療圏域別の定点当たり件数は、松江圏域(390.7)、出雲圏域(329.7)、雲南圏域(320)、大田圏域(265.3)、隠岐圏域(229)、益田圏域(202)、浜田圏域(172.4)の順に多かった。

季節性インフルエンザは、県全体で週の定点当たり報告数が1人以上の流行開始は、2008/2009年シーズンでは、2008年11月の第47週とここ10年で異例の早さであり、ピークは2009年2月の第6週[定点当たり19.8]で、1人未満の流行の終息は5月の第20週と流行期間が長かった。しかし、1月、2月、3月の報告件数は11月から5月の間の総件数の83.0%を占めた。Aソ連型を主体にA香港型、B型も流行した。

新型インフルエンザは2009年7月1日に県内第1例が確認され、8月第33週に定点当たり1.8と流行開始、10月第44週に13.3と注意報レベルを超え、11月第47週37.3、第48週48.0、12月第49週37.0と警報レベルを超え、第53週になお16.8である。注意報レベルを最初に超えた週を圏域別にみると、松江圏域第43週、雲南圏域第45週、出雲圏域第44週、大田圏域第45週、浜田圏域第46週、益田圏域第47週、隠岐圏域第48週であった。なお、ピークの大きさは1999年以降では2003年第4週の52.1件に次いでいる。

年齢別では7歳、8歳の年齢がそれぞれ7%前後を占め最多であったが、例年の4歳から7歳よりやや高い。新型インフルエンザに限ると、乳児は1.1%、1～9歳50.0%、10歳代33.7%、20～30歳代10.4%、40～50歳代3.9%、60歳以上0.8%であった。1歳～10歳代の83.7%は、2008年の75.9%、2007年の68.0%、2006年の71.2%に比し大きい。乳児は例年の2.1～5.7%より小さい。

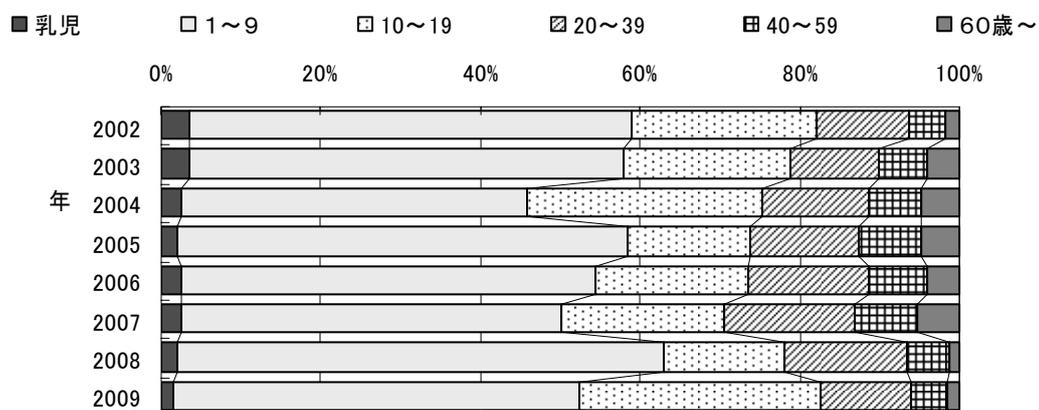


図1 インフルエンザ報告者の年齢区分割合(経年)

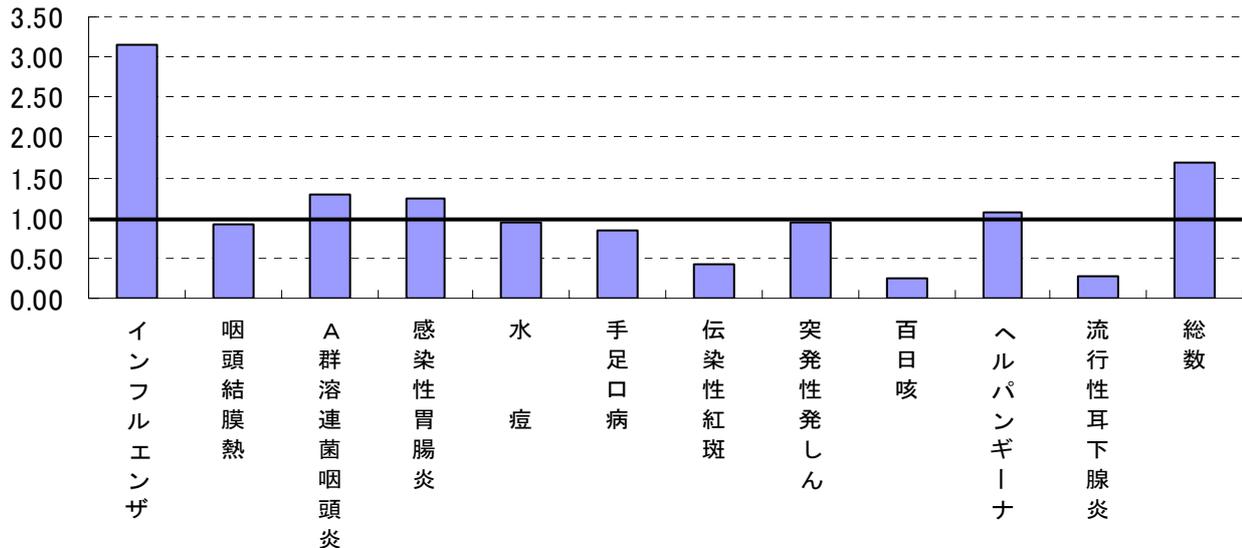


図2 流行指数(2009年報告数/(1999年~2008年の報告数): 島根県

4) 小児科定点感染症の流行状況

(1) 全県的な感染症の流行状況 (表5、図2)

2009年のインフルエンザも含めた総患者数は34,472件と、ここ10年で最多で流行指数も1.69と大きかったが、インフルエンザを除いた件数は15,432件で、2005年以降では最少であった。

ア) 患者報告数が特に多かった疾患— ()内の数値は流行指数。

- ・A群溶連菌咽頭炎:1,193件(1.28)。2007年の大流行より漸減したが、2006年より4年、最大規模の流行が続いた。全国と同様である。
- ・感染性胃腸炎:9,098件(1.25)。2006年からの4年、大流行が続いているが、本年は昨年の9割とやや少なかった。前期は2007年11月~2008年3月と12月~2009年4月の大流行があったが、今年度末の流行は中部でのみみられた。年度末の流行は全国的に小さい。

イ) 患者報告数が例年並みであった疾患— ()内の数値は流行指数

- ・ヘルパンギーナ:818件(1.02)。ここ11年では毎年372~1,105件の報告があり、比較的に変動は小さく、ほぼ中位の件数であった。
- ・突発性発しん:803件(0.95)。「流行」とする疾患ではない。1999年から2003年は681~815件、2004年以降は803~1,093件と変動幅は小さい。
- ・水痘:1,671件(0.93)。ここ11年では毎年1,593~2,215件の報告があり、変動は小さい。本年はほぼ中位の件数であった。2007/08年冬季より、冬季のピークが小さい傾向が続いている。全国的に本年12月のピークは特に小さい。
- ・咽頭結膜熱:358件(0.92)。2004年より件数が増し、2006年に全国と同様に特大の流行(1,162件)があったが、以降、漸減している。

ウ) 患者報告数が例年より小さかった疾患— ()内の数値は流行指数

- ・手足口病:725件(0.85)。ほぼ交互年に増減するが、2008年に続き比較的になかった。
- ・伝染性紅斑;104件(0.42)。2006年の比較的にな大きな流行(936件)の後、非流行年が続いている。これまで3年間の非流行年を挟み、1~3年の流行年になっている。
- ・流行性耳下腺炎;267件(0.27)。2006年の特大の流行(2,501件)から一転非流行年が続いている。これまで非流行年は普通2年間であった。全国的には夏頃より増加傾向がみられる。
- ・百日咳:4件(0.25)。昨年は19件と多かった。1999年以降では一桁の年が6年ある。全国的に約4年周期で流行するとされる。

エ) RSウイルス感染症—

2008/2009年シーズン(7月~6月) 346件(東部164件、中部136件、西部46件)。全県で48週に10件を超え、ピークは51週58件であった。3週には10件未満になり、8週に一時13件となった。なお、2004/2005年32件、2005/2006年149件、2006/2007年250件である。

2009/2010年シーズンは全県で46週に10件を超え、12月までに計170件(東部92件、中部34件、西部44件)になった。

(2) 地区・圏域別にみた流行指数：表6、7、9、図3

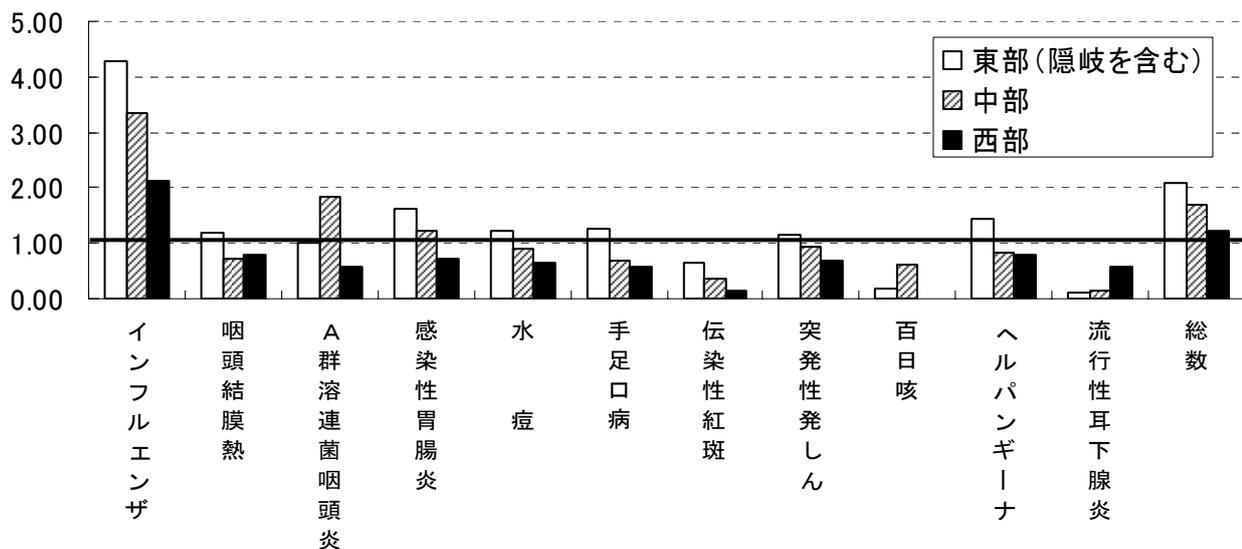


図3 流行指数(2009年報告数/(1999年~2008年の報告数))：地区別

ア) 各地区での流行指数の上位疾患 (突発性発しんを除く) — ()内は流行指数

- ・東部 (隠岐を含む) : 感染性胃腸炎(1.63)、ヘルパンギーナ(1.44)
- ・中部 : A群溶連菌咽頭炎(1.82)、感染性胃腸炎(1.22)
- ・西部 : (インフルエンザのみ)

イ) 定点当りの報告数の地区別、圏域別比較— ()内は定点当りの報告患者数

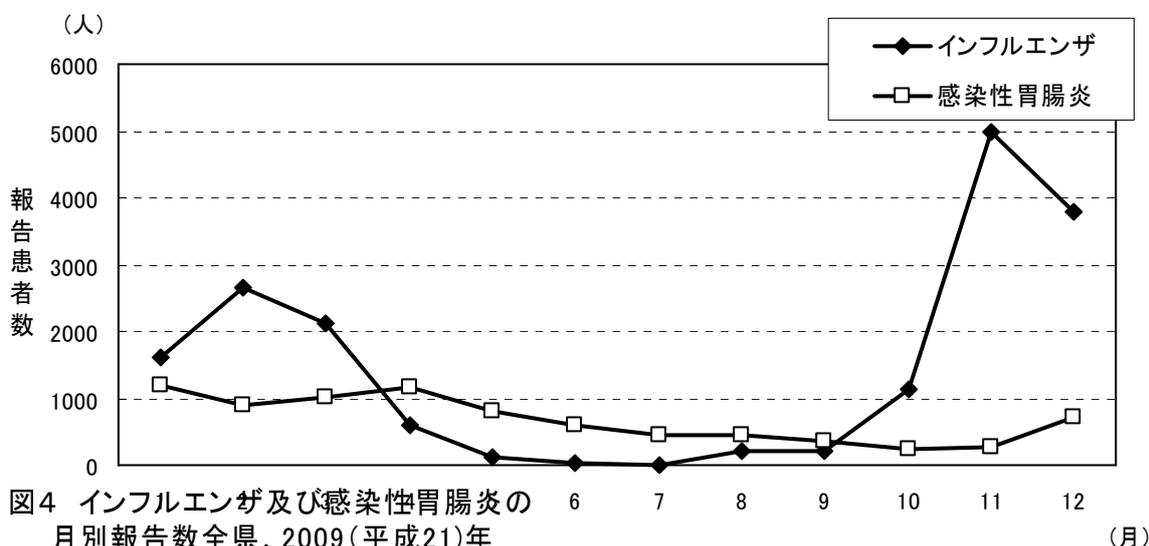
- ・咽頭結膜熱: 松江圏域(26.6)、出雲圏域(18.6)。西部(6.4)はなかった。
- ・A群溶連菌咽頭炎: 出雲圏域(126.4)、雲南圏域(74.5)、松江圏域(39.7)で多く、他圏域(14.9)は少

なかった。出雲圏域は特大の流行が3年続いた。

- ・ **感染性胃腸炎**: 松江圏域(677.1)、大田圏域(438.0)、中部(395.1)は昨年とほぼ同様であったが、隠岐(220.0)、浜田・益田圏域(82.7)はかなり減った。
- ・ **水痘**: 松江圏域(109.4)、中部(72.1)で多く、雲南圏域(76.5)での増加が目だった。隠岐圏域(36.0)、浜田圏域(33.0)で少なく、後者は2006年より4年連続で最少であった。
- ・ **手足口病**: 松江圏域(51.6)、大田圏域(43.5)、中部(27.9)で多く、他圏域(11.7)は少なかった。
- ・ **ヘルパンギーナ**: 隠岐圏域(90.0)で流行し、松江圏域(49.3)と大田圏域(48.0)でも多かった。
- ・ **流行性耳下腺炎**: 益田圏域(60.7)でのみ流行した。

(3) 感染症患者月別発生状況：表8、9、図4~6

月別(1ヶ月は4週に換算)にみた県全体の全疾患の患者報告数(インフルエンザを含む)は、11月(4,975件)、12月(3,781件)、2月(2,653件)、2月(2,653件)が特に多く、この4ヶ月で年間の77.4%を占めた。



7) 流行の季節変動 (月別報告数は1ヶ月4週に換算) —

- ・ **咽頭結膜熱**: 2006年6月(185件)のような流行はなく、最多の2月48件から、最少の9月9件まで変動幅は小さかった。
- ・ **A群溶連菌咽頭炎**: 増減を繰り返した。3月(114件)、5月(118件)、6月(124件)、11月(130件)に多く、中部が59~76%を占めた。2007年と2008年のピーク月はそれぞれ6月(189件)と5月(144件)であった。
- ・ **感染性胃腸炎**: 1月(1,205件)、3月(1,011件)、4月(1,154件)が突出して多かったが、2006年11月(1,597件)、2007年12月(1,492件)、2008年3月(1,492件)に比較し少なかった。12月には中部のみ流行があった。
- ・ **水痘**: 全県では5月(178件)、6月(163件)、12月(175件)に多かったが、最多月は、東部3、4、5月、中部2、5、12月、西部1、12月とばらついた。少ない月は8月(52件)9月(51件)でほぼ一致した(西部は9、10月)。
2006/2007年の冬季の流行は12月412件、1月316件と特大で、以降の初夏と冬季の流行は比較的小さい。

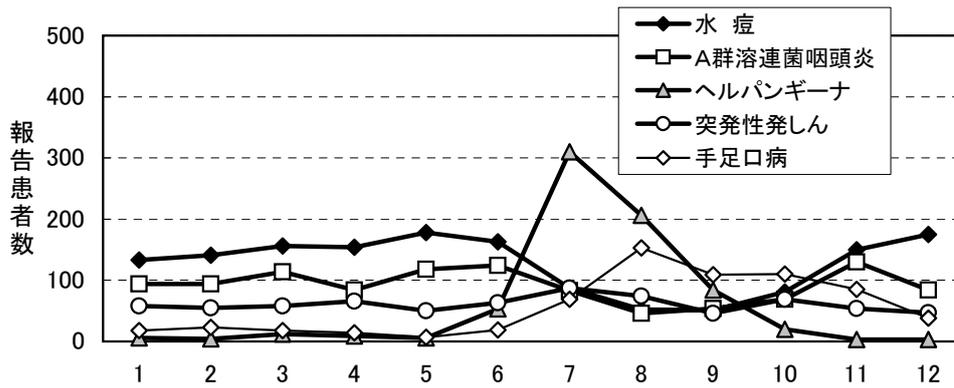


図5 小児科定点 月別報告患者数(全県-1)、2009(平成21)年

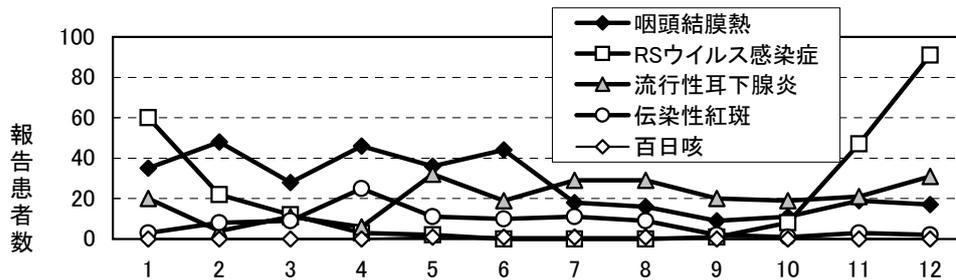


図6 小児科定点 月別報告患者数(全県-2)、2009(平成21)年

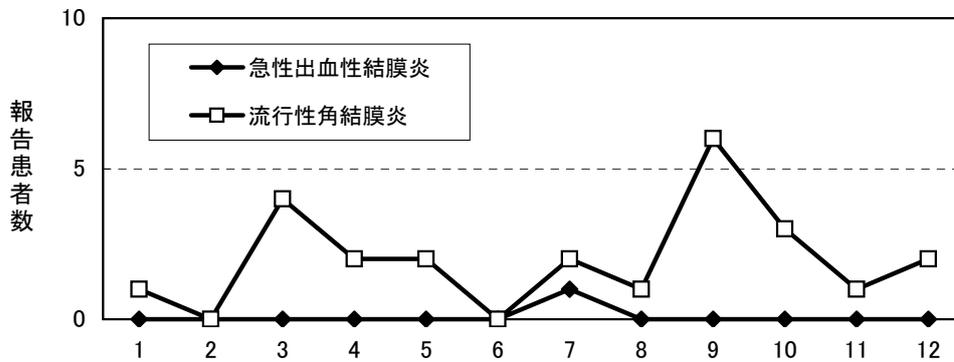


図7 眼科定点 月別報告患者数(全県)、2009(平成21)年

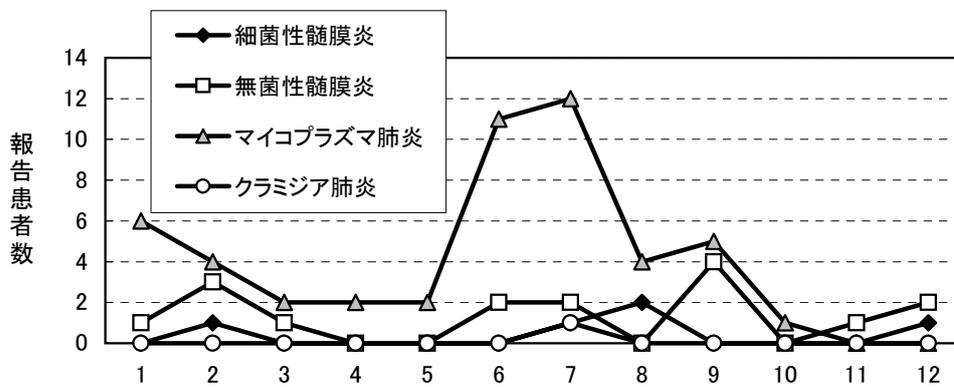


図8 基幹病院定点 月別報告患者数(全県)、2009(平成21)年

- ・手足口病：県全体で8月(153件)をピークとし、各地で7～11月に小流行した。1～6月にも7～23件の報告が続いた。なお、2007年のピークは9月191件であった。
- ・伝染性紅斑：東部と中部で一時的に4月(25件)より初夏にやや増えた。
- ・ヘルパンギーナ：7月(310件)をピークに6～9月辺りに集中し(この4ヶ月間に91.2%)、隠岐圏域の件数が11%を占めた。西部は昨年の流行は特に小さかったが、本年は8月をピークに例年の流行であった。
- ・流行性耳下腺炎：1月および5月～12月に19～32件とやや増したが、大半は益田圏域からの報告である。
- ・RSウイルス感染症：前述した。

(4) 定点別把握疾患の年齢別患者数の分布：表10

- ・RSウイルス感染症(今年度報告分)：乳児前半34.4%、乳児後半17.5%、1歳代28.4%、2～4歳14.0%、成人3.9%であり、乳児が51.9%を占めた。
- ・突発性発しん：乳児前半2.6%、乳児後半56.9%、1歳代が38.4%と2歳未満が97.9%を占めた。
- ・1歳代が最多であった疾患：咽頭結膜熱(1歳代の占める割合42.2%)、感染性胃腸炎(21.8%)、水痘(32.8%)、手足口病(43.4%)、ヘルパンギーナ(32.8%)であり、疾患は昨年と同様であり、割合もよく類似している。いずれも7歳未満の児に広く分布している。
- ・その他の年齢が最多であった疾患；A群溶連菌咽頭炎(5歳、15.3%)、伝染性紅斑(4歳、18.3%)、流行性耳下腺炎(5歳、21.3%)。前後5年間の年代がそれぞれ62.9%、66.4%、71.5%を占める。
- ・成人水痘：2005年21件(1.03%)、2006年24件(1.11%)と近年の増加が危惧されたが、2007年7件(0.37%)、2008年9件(0.59%)、2009年11件(0.7%)と少なかった。流行規模がやや小さかったことと関連するかもしれない。
- ・成人の流行性耳下腺炎：2005年17件(1.85%)、2006年53件(2.12%)、2007年13件(2.21%)と多かったが、非流行年になるとともに、2008年3件(3.49%)、本年も3件(1.1%)と少なかった。
- ・百日咳：4件の内訳は乳児、1歳、3歳、成人が各1件であった。近年、問題の成人の罹患状況の詳細は不明であるが、全国小児科定点からの2008年度の報告では10歳代が12.5%、成人が36.1%を占めた。

—本年の特徴—

- ・インフルエンザの非流行月は6月と7月のみの短期であり、特に新型インフルエンザは11月～12月にかけて1歳～10代を主体に猛威を振るった。
- ・A群溶連菌咽頭炎と流行性耳下腺炎の明らかな流行はそれぞれ出雲圏域と益田圏域でみられた。
- ・感染性胃腸炎の年度末の流行は東部と西部では小さかった。

5) 眼科定点感染症の流行状況：表5、6、7、8、9、10、図7、9

(1) 急性出血性結膜炎：1件

1992年には、全県で113件の発症を認めたが、1993年以降は全県で3～35件の発症で、1998年には13例の発症があつて以降は全県で年間2～4件の報告程度となり、更に2005年からは、報告のない年もしばしばみられるように減少していた。

2009年は、中部で20歳～40歳代の1件の報告が7月にあった。

(2) 流行性角結膜炎:26件

1997年までは、全県で年間160～320件程度の報告が続いていたが、1998年頃からは、100件を少し超える程度の発生となった。1999年から2008年の10年では、1999年120件、2000年112件の年間報告数であったが、2005年の126件(西部で106件の小流行があった)を除いて、2桁台の報告数を推移し、この5年間の報告数は、2006年38件、2007年19件、2008年65件、2009年26件であった。

季節的には、東部で3～5月、及び7～10月に発症の峰があり、西部でも不完全ではあるが、同様の二峰性の報告数を示したが、中部では発生数も少なく明らかな二峰性は認められなかった。

年齢別では、3歳の幼児2件の他は、10歳代3件、20～39歳10件、40～59歳8件、及び60～79歳3件であった。

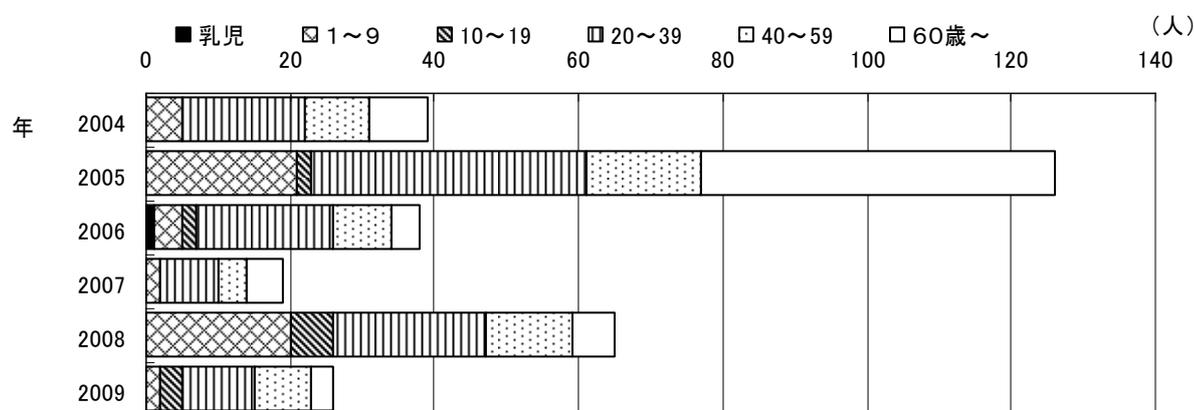


図9 流行性角結膜炎の年齢区分別発生状況(経年)

6) 基幹病院定点感染症の流行状況：表5、6、7、8、9、10、図8

(1) 細菌性髄膜炎：中部より5件

乳児1件、1～4歳2件、成人2件であった。1999年以降、中部からは毎年、報告がある。東部からは2006年より、西部からは2002年より報告はない。

1999年以降の11年間で計48件になった。年齢別内訳は、0歳13件、1～4歳10件、5～9歳3件、10歳代2件、成人20件である。

(2) 無菌性髄膜炎：中部より18件

2007年の108件の大流行を除くと1999年からの年平均は21.0件である。東部からは2006年より、西部からは2002年より報告はない。本年の年代分布は0歳1件、1～4歳2件、5～9歳2件、10歳代5件、成人7件であった。

(3) マイコプラズマ肺炎：55件

1999年以降で第4位の流行であった。昨年の大流行の約1/3になった。昨年に続き雲南圏域で流行し48件(87%)を占め、残る7件は出雲圏域からであった。本年の年代分布は乳児0、1～4歳30件、

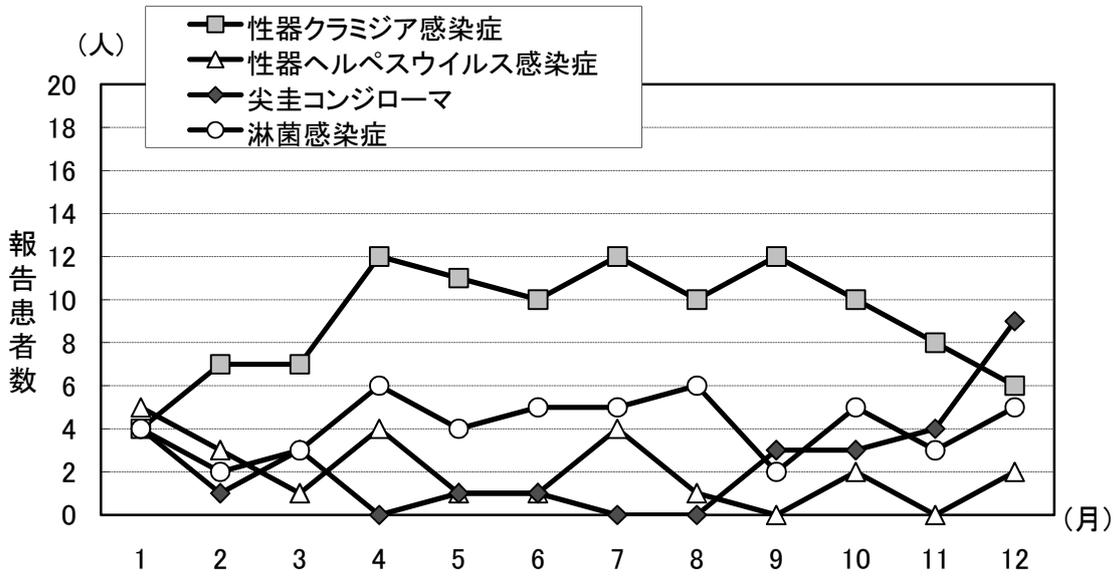


図10 性感染症(STD)月別報告患者数 2009(平成21)年

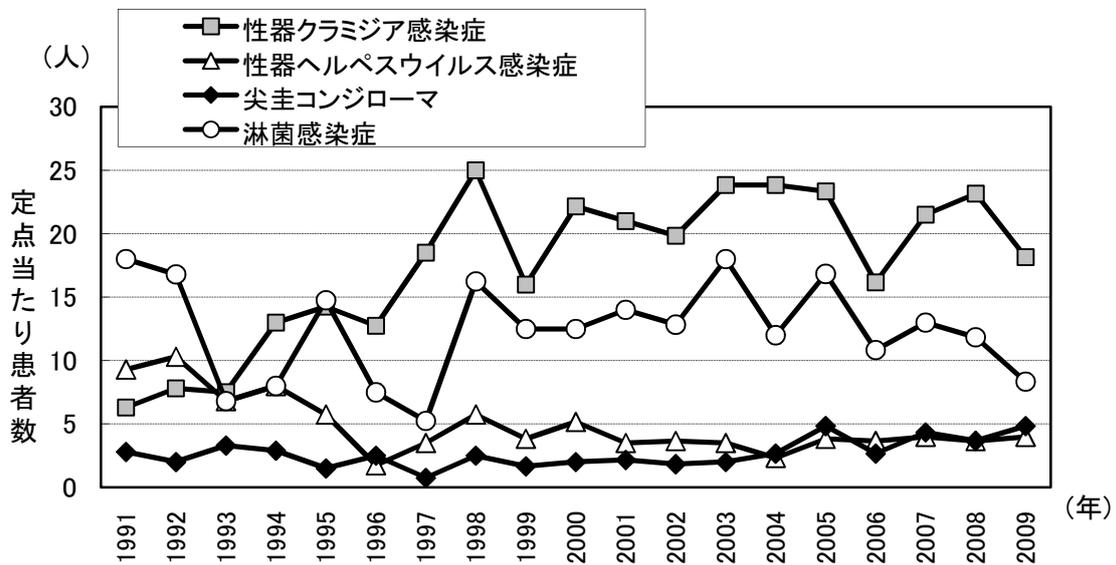


図11 性感染症の年次推移(定点当たり患者数)

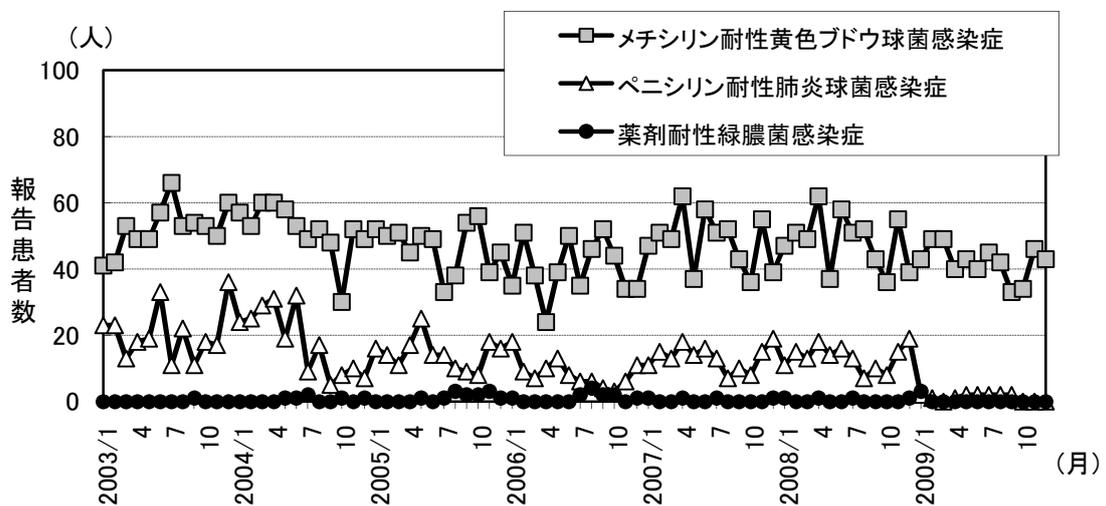


図12 基幹病院定点 過去7年の月別報告患者数 2009(平成21)年
定点報告8

5～9歳 10 件、10 歳代 10 件、成人 5 件であり、昨年同様に、最多とされる5～9歳より低年齢層に多かった。

全国的に通年性の中規模以上に流行しており、報告態勢の向上が望まれる。

(4) クラミジア肺炎： 出雲圏域から 10 歳代の 1 件の報告があった。

(泉 信夫)

7) 性感染症 (STD) 定点把握疾患の発生状況 (月報) : 表 11、12、13、図 10、11

本県の性感染症(STD)の 2003(平成 15)年以降 7 年間の年次別報告数の推移を見ると、2003(平成 15)年は 284 件であったものが、2004(平成 16)年 245 件、2005(平成 17)年 293 件、2006(平成 18)年 200 件、2007(平成 19)年 257 件、2008(平成 20)年 254 件、2009(平成 21)年 212 件であった。

本年の性感染症(STD)報告数の内訳は、性器クラミジア感染症 109 件(51.47%)、性器ヘルペスウイルス感染症 24 件(11.3%)、尖圭コンジローマ 29 件(13.7%)、淋菌感染症 50 件(23.6%)であった。

(1) 性器クラミジア感染症 : 109 件

例年並みの報告数で、性感染症の約半数を占め、そのうち男性 80 件、女性 59 件であった。経年的には、患者数の増減はあるが、増加傾向にあるとはいえない。

年齢別では、10 代 13 件、20 代 55 件、30 代が 32 件、40 代 6 件、50 代が 3 件であった。性別では、男女とも 10 代から 50 代まで広く分布し、女性は男性に比べやや若年層に多く分布していた。

月別の報告数では冬場に若干減少傾向が認められた。

(2) 性器ヘルペス感染症 : 24 件

性別では、男性 11 件、女性 13 件であった。年齢は、20 代から 70 代に広く分布していた。

月別の報告数に増減は特に認められなかった。

(3) 尖圭コンジローマ : 29 件

性別では、男性 14 件、女性 15 件であった。年齢は、10 代から 70 代に広く分布していた。

月別の報告数では、夏場に減少傾向が認められた。

(4) 淋菌感染症 : 50 件

報告数は、例年より少なく、男性 43 件、女性 7 件と、男性が多い傾向にも変わりが無かった。年齢は、20 代から 40 代が中心であった。

月別の報告数に増減は特に認められなかった。

(嶋本 司)

8) 基幹定点把握疾患の発生状況 (月報) : (表 14、15、16、図 12)

(1) **メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症**： 507 件。

報告指数は 0.92(2002 年から 2008 年の平均 552 件に対する比率)であった。圏域別の指数は松江圏域 1.44、出雲圏域 0.67、大田圏域 0.37、益田圏域 0.95、隠岐圏域 0.19 とばらついた。

男性は従来から概ね女性の約 2 倍であるが、本年も 2.19 倍であった。

年齢別では、2005 年以降、70 歳以上が概ね 70%以上を占め、本年も 73.8%を占めた。10 歳未満は 2001 年の 50 件より、53、63、49、37、27、19、12、13 件、そして本年の 9件と漸減した。季節的特徴はみられない。

(2) **ペニシリン耐性肺炎球菌感染症**： 14 件。

報告指数は 0.082 と非常に小さかった。2003 年の 244 件以降、ほぼ漸減した。例年と同様、報告は松江圏域と益田圏域に集中し両圏域とも同様の動向である。全国的にも、2000 年以降で下位の件数であるが、本県のような極度の減少はなく、報告態勢の強化が望まれる。

例年、男性がやや多い(男女比は 1.07~1.68)が、本年は女性が多かった。

年齢別分布は、例年 10 歳未満と 70 歳以上に多いが、本年も前者 8 件(57.1%)、後者 5 件(35.7%)であった。季節的特徴はみられない。

(3) **薬剤耐性緑膿菌感染症**： 3 件。

報告指数は 0.44 であった。出雲圏域 2 件、大田圏域 1 件でいずれも 70 歳以上で 1 月に報告された。全国的に 2008 年、2009 年は 2000 年以降で最少の件数になっている。

2000 年以降の累計は 54 件になった。圏域別では、雲南圏域 3 件、出雲圏域 16 件、大田圏域 5 件、益田圏域 16 件、隠岐 14 件である。年齢構成は 10 歳代 1 件、30 歳代 2 件、50 歳代 4 件、60 歳代 6 件、70 歳以上 41 件で、70 歳以上が 75.9%を占めている。四半期別では 1~3 月 8 件、4~6 月 6 件、7~9 月 22 件、10~12 月 18 件である。

(泉 信夫)

9) 島根県感染症発生動向調査の精度評価：表 5~9、図 5、13~16

サーベイランスの精度評価は、昨年度の年報に記した理由により、突発性発しんと水痘の報告件数、さらに出生数を考慮しておこないたい。

突発性発しんは、年次と季節による変動が小さく、モニターとして適切であることが立証されている。水痘は不顕性感染がなく、予防接種がなければ、年間発症者数は地域の出生児数に近似するとされる(季節性変動はある)。わが国では、vaccine failure も考慮し、年間出生数の 80~85%程度が罹患すると推定される。定点のあり方に関する決まりはないが、定点当りの報告数が出生数と連動することを理想として考えるのが現実的であろう。

(1) **全県の精度**

島根県の 1999 年から 2001 年(A)の出生数の平均 6,644 人を 1 とすると、2004 年~2008 年(B)は平均 0.89(幅 0.86~0.91)であり、2009 年は 5,615 人、0.85 である。この間、2000 年、2006 年のように前年

より微増した年もあるが、他は前年より73～218名減少した。

突発性発しんの、期間(A)の報告数の平均761件を1とした場合、これに対する期間(B)の各年の比率は平均1.23(1.08～1.44)で、2009年は1.06であった。出生1万に対する期間(A)の報告数の平均は1,145件を1とすると、期間(B)の比率は平均1.38(1.10～1.61)で、2009年は1.25であった。

水痘の、期間(A)の報告数の平均は1,708件で、期間(B)の比率の年平均は1.12(0.93～1.26)で、2009年は0.98であった。出生1万に対する期間(A)の報告数の平均は2,575件で、期間(B)の比率の年平均は1.25(1.07～1.39)で2009年は1.16であった。

突発性発しん、水痘の両方で、報告実数、出生1万当りの件数とも、2000年頃と比べてやや大きく、小児人口は減っているが、サーベイランスの精度は良好に保たれている。2000年頃に精度の低下があったと考えられる。

(2) 地区別の精度

出生数の期間(A)の平均は東部(隠岐を含む)2,568人、中部2,176人、西部1,756人であり、これらをそれぞれ1とすると、期間(B)の比率の平均はそれぞれ、0.91(0.89～0.93)、0.93(0.91～0.96)、0.91(0.85～0.96)であり、2009年はそれぞれ0.89、0.87、0.82であった。ここ数年、出生数の減少は中・西部、特に西部で大きい。

突発性発しんの報告実数は、期間(A)の平均は東部221件、中部279件、西部255件、期間(B)の期間(A)に対する比率の平均はそれぞれ、1.99(1.81～2.12)、1.17(1.01～1.44)、0.67(0.48～0.88)、2009年の比率はそれぞれ、1.70、1.01、0.58であった。

突発性発しんの出生1万当りの期間(A)の平均件数は、東部884件、中部1,286件、西部1,451件、期間(B)の期間(A)に対する比率の平均はそれぞれ、2.12(1.96～2.26)、1.25(1.06～1.57)、0.73(0.55～0.91)、2009年の比率はそれぞれ、1.87、1.15、0.70であった。

水痘の報告実数の期間(A)の平均は、東部443件、中部572件、西部692件、期間(B)の期間(A)に対する比率の平均はそれぞれ、1.94(1.51～2.49)、0.99(0.65～1.14)、0.76(0.49～0.99)、2009年の比率はそれぞれ、1.81、0.88、0.58であった。

水痘の出生1万当りの期間(A)の平均件数は、東部1,728件、中部2,625件、西部3,944件、期間(B)の期間(A)に対する比率の平均はそれぞれ、2.03(1.65～2.76)、1.06(0.70～1.25)、0.76(0.52～0.99)、2009年の比率はそれぞれ、2.04、1.01、0.64であった。

東部は2000年前後、明らかな精度の低下が認められたが、現在は回復し、精度は良好である。

中部は、ここ2年水痘の件数が減少したが、突発性発しんの件数は良好に維持されている。前者は、地域の水痘の流行状況を反映したと考えられる。

西部は両疾患の報告件数は、実数、出生1万人当たりともに、出生数の低下以上に低下し、精度の低下が懸念される。西部の各圏域の突発性発しんの1999～2000年の平均は大田67件、浜田83件、益田105件であるが、2007～2009年の平均はそれぞれ51件(比率;0.76)、39件(0.47)、56件(0.53)である。浜田・益田両圏域での減少は出生数の低下以上に大きい。浜田圏域は水痘の定点当りの件数も2006年より県内で最少が続いており、一考を要する。

(泉 信夫)

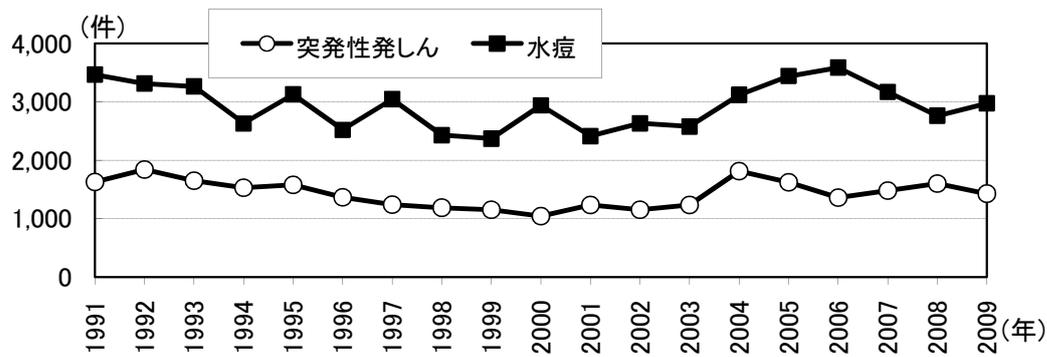


図13 出生1万人当たりの突発性発しん及び水痘の報告数

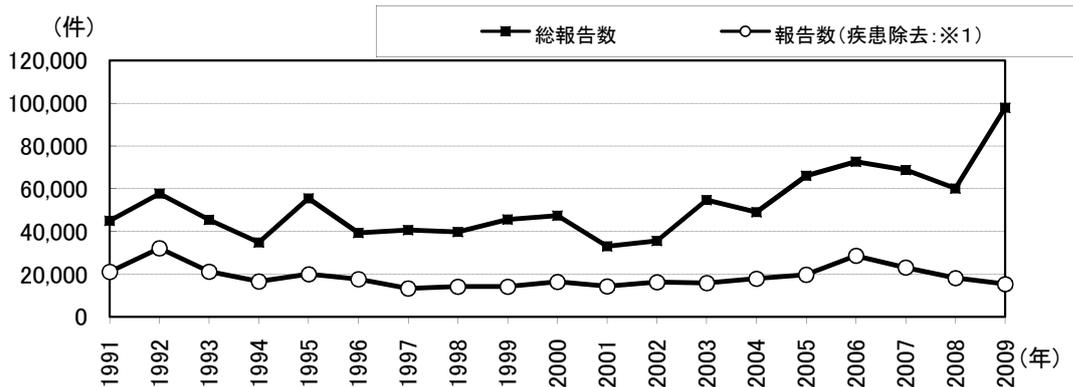


図14 幼児人口10万人当たりの報告数

※1 総報告数から、インフルエンザ及び感染性胃腸炎の報告件数を除いた件数

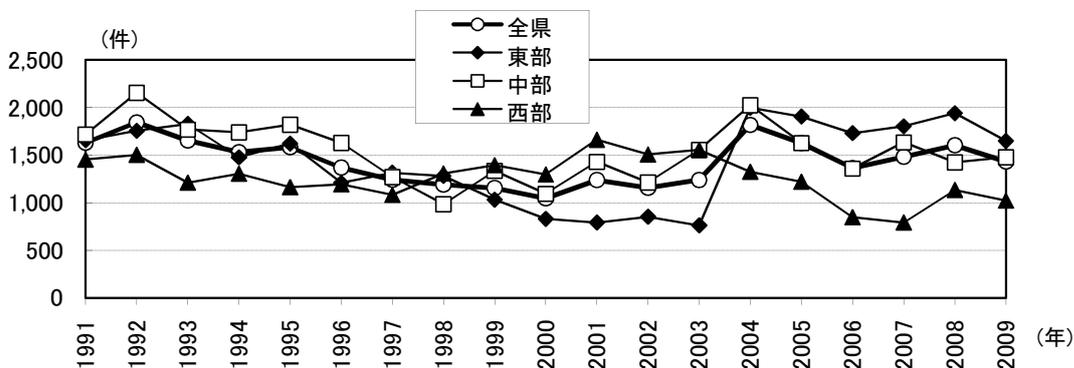


図15 出生1万人当たりの地区別報告数(突発性発疹)

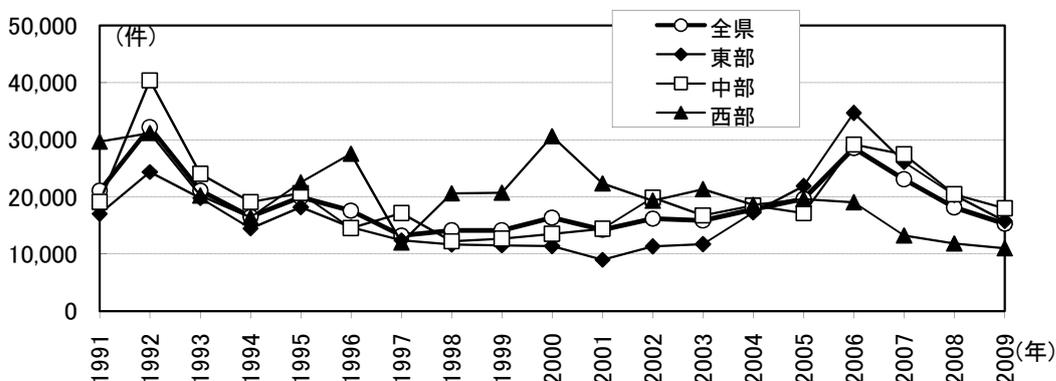


図16 幼児人口10万人当たりの報告数(疾患除去:※1)

※1 総報告数から、インフルエンザ及び感染性胃腸炎の報告件数を除いた件数

表5 5類定点報告疾患 年次別発生状況(島根県)

疾患名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎※	クラミジア肺炎	合計
1987年(S62)	3,533	・	201	666	6,910	3,073	1,277	2,015	1,447	273	1,626	464	2	372	・	16	419	・	24,216
1988年(S63)	4,560	・	178	1,009	8,127	2,529	2,891	81	1,280	116	1,264	1,068	5	946	・	35	618	・	25,988
1989年(H元)	6,313	・	117	856	8,305	2,391	165	44	1,310	22	1,155	3,017	1	323	・	88	987	・	25,424
1990年(H2)	9,483	・	284	731	7,606	2,787	881	81	1,250	43	1,364	1,856	6	284	・	114	440	・	28,846
1991年(H3)	2,719	・	87	1,288	9,215	2,603	276	237	1,223	152	1,336	337	16	244	・	229	335	・	22,408
1992年(H4)	5,673	・	71	1,051	6,626	2,449	1,030	1,324	1,362	49	1,469	246	113	358	・	26	610	・	27,771
1993年(H5)	4,701	・	25	984	6,584	2,312	852	123	1,170	17	823	1,251	6	192	・	7	746	・	21,085
1994年(H6)	2,617	・	167	624	5,626	1,861	542	50	1,084	25	946	1,314	3	195	・	68	425	・	15,663
1995年(H7)	8,938	・	110	410	6,485	2,064	2,442	44	1,044	55	578	1,190	35	279	・	37	237	・	24,054
1996年(H8)	3,801	・	109	459	5,462	1,782	59	309	967	63	543	2,471	29	255	・	17	266	・	16,780
1997年(H9)	6,714	・	150	565	5,478	2,080	827	453	970	17	704	723	10	165	・	42	350	・	19,494
1998年(H10)	5,669	・	172	732	4,907	1,578	1,655	504	835	17	310	572	13	108	・	17	129	・	17,262
1999年(H11)	7,073	・	72	749	5,769	1,618	138	125	787	22	896	1,127	2	120	2	40	26	0	18,617
2000年(H12)	6,628	・	91	670	5,858	1,915	1,267	53	681	48	460	1,209	2	112	2	6	5	0	19,092
2001年(H13)	2,323	・	142	441	5,252	1,592	474	128	815	8	983	1,055	4	98	5	10	106	1	13,540
2002年(H14)	2,547	・	139	601	5,146	1,692	1,069	437	742	4	372	1,322	2	71	1	33	75	1	14,311
2003年(H15)	9,764	・	128	509	5,432	1,604	1,651	40	770	4	1,105	369	1	82	6	14	25	0	21,514
2004年(H16)	4,822	30	581	865	7,224	1,875	678	128	1,093	31	884	627	2	39	9	41	24	0	18,932
2005年(H17)	9,066	134	480	887	8,387	2,036	1,035	390	961	12	555	920	0	126	6	6	16	3	24,893
2006年(H18)	6,584	135	1,162	1,405	9,781	2,157	537	936	820	3	845	2,501	0	38	3	22	43	5	26,985
2007年(H19)	6,834	215	638	1,763	9,832	1,882	1,106	146	880	8	1,030	587	2	19	2	108	21	2	25,089
2008年(H20)	4,951	415	468	1,442	10,035	1,580	620	123	917	19	599	88	0	65	7	20	147	3	21,499
2009年(H21)	19,040	285	358	1,193	9,098	1,671	725	104	803	4	818	267	1	26	5	18	55	1	34,472
流行指数	3.14	-	0.92	1.28	1.25	0.93	0.85	0.42	0.95	0.25	1.06	0.27	0.67	0.34	1.16	0.60	1.13	0.67	1.69

※ 流行指数=2009患者数/1999～2008の年間平均患者数

※ マイコプラズマ肺炎は、1998年以前は異型性肺炎

表6-1 5類定点報告疾患 年次別発生状況(東部(隠岐地区を含む))

疾患名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎※	クラミジア肺炎	合計
1987年(S62)	1,447	・	140	367	2,405	1,190	368	1,132	488	35	700	261	1	30	・	7	163	・	9,171
1988年(S63)	1,181	・	146	501	3,025	865	1,126	58	443	35	493	347	1	90	・	14	268	・	8,966
1989年(H元)	2,087	・	75	383	2,401	775	18	8	345	3	474	857	0	19	・	30	284	・	7,911
1990年(H2)	3,418	・	220	232	2,257	972	442	21	333	14	369	438	0	9	・	17	158	・	9,383
1991年(H3)	822	・	49	437	3,371	800	113	79	461	78	356	118	0	17	・	21	93	・	7,299
1992年(H4)	2,426	・	47	232	2,165	865	307	493	485	12	313	73	4	15	・	4	109	・	8,908
1993年(H5)	1,612	・	21	312	2,261	988	274	21	488	3	222	297	5	11	・	0	143	・	7,270
1994年(H6)	524	・	77	185	1,597	538	176	32	394	16	260	614	0	23	・	25	49	・	4,538
1995年(H7)	2,928	・	62	121	1,750	698	1,008	24	403	13	157	325	8	24	・	1	48	・	7,618
1996年(H8)	1,104	・	99	183	1,273	542	10	80	319	34	143	742	1	10	・	10	74	・	4,730
1997年(H9)	1,850	・	124	230	1,503	748	180	198	392	7	151	304	0	26	・	8	101	・	5,885
1998年(H10)	2,090	・	46	168	1,295	596	427	139	348	9	80	195	0	8	・	14	22	・	5,449
1999年(H11)	1,996	・	27	112	1,472	510	22	36	261	7	253	503	0	12	0	0	9	0	5,242
2000年(H12)	2,235	・	23	105	1,316	442	230	17	194	14	151	233	0	6	0	4	1	0	4,990
2001年(H13)	444	・	30	92	1,381	376	120	36	208	3	253	248	0	13	3	8	29	0	3,274
2002年(H14)	538	・	22	116	1,421	450	350	156	211	1	94	328	0	7	0	27	33	1	3,761
2003年(H15)	2,795	・	19	207	1,649	494	484	9	189	1	233	140	0	27	4	10	21	0	6,285
2004年(H16)	1,231	10	246	326	3,335	667	219	23	468	20	429	138	0	1	1	29	21	0	7,157
2005年(H17)	2,718	54	195	300	4,003	875	502	193	437	1	288	381	0	7	1	2	1	0	9,962
2006年(H18)	1,712	59	495	649	5,072	1,103	229	415	400	0	432	1,207	0	13	0	0	35	1	11,825
2007年(H19)	2,775	115	352	596	5,308	758	586	91	432	2	497	287	1	8	0	0	6	0	11,817
2008年(H20)	1,883	193	256	292	5,472	898	263	75	459	2	391	43	0	10	0	0	2	0	10,239
2009年(H21)	7,856	137	195	284	4,960	802	376	67	375	1	435	33	0	12	0	0	0	0	15,533
流行指数	4.29	-	1.17	1.02	1.63	1.22	1.25	0.64	1.15	0.20	1.44	0.09	0.00	1.15	0.00	0.00	0.00	0.00	2.08

※ 流行指数=2009患者数/1999～2008の年間平均患者数

※ マイコプラズマ肺炎は、1998年以前は異型性肺炎

表6-2 5類定点報告疾患 年次別発生状況(中部)

疾患名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎※	クラミジア肺炎	合計
1987年(S62)	573	・	35	214	2,259	900	306	257	565	57	391	115	1	291	・	5	175	・	6,390
1988年(S63)	1,044	・	23	184	1,959	763	1,009	11	533	71	287	499	4	654	・	15	239	・	7,377
1989年(H元)	1,446	・	24	171	2,158	823	125	31	610	14	243	1,457	1	272	・	57	530	・	8,072
1990年(H2)	2,541	・	25	262	2,206	885	157	56	556	10	371	418	2	241	・	94	135	・	8,557
1991年(H3)	285	・	18	425	2,164	1,086	108	72	490	56	213	46	4	196	・	188	118	・	6,023
1992年(H4)	1,032	・	8	446	2,089	916	486	518	600	23	447	59	9	219	・	17	389	・	10,460
1993年(H5)	951	・	2	249	2,379	833	374	58	470	3	305	901	0	115	・	5	470	・	7,549
1994年(H6)	466	・	32	218	2,394	837	294	12	462	6	307	630	1	128	・	37	238	・	6,122
1995年(H7)	2,871	・	31	182	2,867	913	908	14	451	14	204	382	0	117	・	19	132	・	9,135
1996年(H8)	1,368	・	4	152	2,203	536	14	204	448	22	138	547	2	116	・	2	126	・	5,918
1997年(H9)	1,862	・	11	192	1,756	842	413	122	371	3	255	348	2	101	・	34	205	・	6,641
1998年(H10)	1,181	・	5	255	518	446	397	219	232	4	87	259	1	45	・	3	35	・	3,706
1999年(H11)	1,241	・	27	264	1,613	453	55	16	283	11	354	334	0	43	2	2	9	0	4,719
2000年(H12)	1,803	・	38	153	1,865	623	464	23	243	15	92	163	1	58	2	1	4	0	5,599
2001年(H13)	657	・	58	180	1,768	641	141	70	312	2	383	173	3	41	1	0	77	1	4,564
2002年(H14)	921	・	102	233	1,854	625	457	130	264	1	104	740	1	31	1	6	42	0	5,528
2003年(H15)	3,236	・	49	204	2,029	529	479	9	321	0	378	197	0	25	2	4	4	0	7,469
2004年(H16)	1,812	19	235	364	2,153	653	301	63	401	2	245	60	0	6	8	12	3	0	6,324
2005年(H17)	2,892	69	170	347	2,597	536	212	143	329	7	171	188	0	13	5	4	15	3	7,634
2006年(H18)	2,172	69	528	470	2,991	653	191	307	283	2	290	812	0	6	3	22	8	4	8,816
2007年(H19)	2,093	69	237	1,029	2,937	609	354	35	325	1	358	224	1	2	2	108	15	2	8,407
2008年(H20)	1,440	135	151	1,034	2,937	374	154	14	289	8	140	13	0	4	7	20	143	3	6,866
2009年(H21)	6,118	90	112	781	2,766	505	195	28	281	3	210	43	1	3	5	18	55	1	11,215
流行指数	3.35	-	0.70	1.83	1.22	0.89	0.69	0.35	0.92	0.61	0.83	0.15	1.67	0.13	1.52	1.01	1.72	0.77	1.70

※ 流行指数=2009患者数/1999～2008の年間平均患者数

※ マイコプラズマ肺炎は、1998年以前は異型性肺炎

表6-3 5類定点報告疾患 年次別発生状況(西部)

疾患名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎※	クラミジア肺炎	合計
1987年(S62)	1,513	・	26	85	2,246	983	603	626	394	181	535	88	0	51	・	4	81	・	8,655
1988年(S63)	2,335	・	9	324	3,143	901	756	12	304	10	484	222	0	202	・	6	111	・	9,645
1989年(H元)	2,780	・	18	302	3,746	793	22	5	355	5	438	703	0	32	・	1	173	・	9,441
1990年(H2)	3,524	・	39	237	3,143	930	282	4	361	19	624	1,000	4	34	・	3	147	・	10,906
1991年(H3)	1,612	・	20	426	3,680	717	55	86	272	18	767	173	12	31	・	20	124	・	9,086
1992年(H4)	2,215	・	16	373	2,372	668	237	313	277	14	709	114	100	124	・	5	112	・	8,403
1993年(H5)	2,138	・	2	423	1,776	491	204	44	212	11	296	53	1	66	・	2	133	・	6,098
1994年(H6)	1,627	・	58	221	1,549	486	72	6	228	3	379	70	2	44	・	6	138	・	4,917
1995年(H7)	3,139	・	17	107	1,745	453	526	6	190	28	217	483	27	138	・	17	57	・	7,178
1996年(H8)	1,329	・	6	124	1,908	704	35	25	200	7	262	1,182	26	129	・	5	66	・	6,054
1997年(H9)	3,002	・	15	143	1,865	490	234	133	207	7	298	71	8	38	・	0	44	・	6,614
1998年(H10)	2,398	・	48	309	3,094	536	831	146	255	4	143	118	12	55	・	0	72	・	8,034
1999年(H11)	3,836	・	18	373	2,684	655	61	73	243	4	289	290	2	65	0	32	8	0	8,650
2000年(H12)	2,295	・	29	399	2,463	846	560	13	227	18	185	805	1	48	0	1	0	0	7,903
2001年(H13)	1,222	・	54	169	2,103	575	213	22	295	3	347	634	1	44	1	2	0	0	5,701
2002年(H14)	1,088	・	15	252	1,871	617	262	151	267	2	174	254	1	33	0	0	0	0	5,022
2003年(H15)	3,733	・	60	98	1,754	581	688	22	260	3	494	32	1	30	0	0	0	0	7,760
2004年(H16)	1,779	1	100	175	1,736	555	158	42	224	9	210	429	2	32	0	0	0	0	5,451
2005年(H17)	3,456	11	115	240	1,787	625	321	54	195	4	96	351	0	106	0	0	0	0	7,362
2006年(H18)	2,700	7	139	286	1,718	401	117	214	137	1	123	482	0	19	0	0	0	0	6,344
2007年(H19)	1,966	31	49	138	1,587	515	166	20	123	5	175	76	0	9	0	0	0	0	4,865
2008年(H20)	1,628	87	61	116	1,626	308	203	34	169	9	68	32	0	51	0	0	2	0	4,394
2009年(H21)	5,066	58	51	128	1,372	364	154	9	147	0	173	191	0	11	0	0	0	0	7,724
流行指数	2.14	-	0.80	0.57	0.71	0.64	0.56	0.14	0.69	0.00	0.80	0.56	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	-	1.22

※ 流行指数=2009患者数/1999~2008の年間平均患者数

※ マイコプラズマ肺炎は、1998年以前は異型性肺炎

表7 5類定点報告疾患 地区別発生状況(全県)

2009(平成21)年

(平成20年12月29日～平成21年1月3日)

(下段:地区別定点あたり患者数)

疾患名	2次医療圏域別							地区別				合計
	東部	中部		西部			隠岐	東部	中部	西部	隠岐	
	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐					
(インフルエンザ定点数)	11	3	9	3	5	5	2	11	12	13	2	38
インフルエンザ	7,134	1,413	4,705	1,395	1,855	1,816	722	7,134	6,118	5,066	722	19,040
(小児科定点数)	7	2	5	2	3	3	1	7	7	8	1	23
RSウイルス感染症	137	2	88	0	20	38	0	137	90	58	0	285
咽頭結膜熱	186	19	93	1	33	17	9	186	112	51	9	358
A群溶連菌咽頭炎	278	149	632	23	57	48	6	278	781	128	6	1,193
感染性胃腸炎	4,740	653	2,113	876	288	208	220	4,740	2,766	1,372	220	9,098
水痘	766	153	352	124	99	141	36	766	505	364	36	1,671
手足口病	361	65	130	87	26	41	15	361	195	154	15	725
伝染性紅斑	67	7	21	6	3	0	0	67	28	9	0	104
突発性発しん	357	51	230	48	40	59	18	357	281	147	18	803
百日咳	1	2	1	0	0	0	0	1	3	0	0	4
ヘルパンギーナ	345	52	158	96	33	44	90	345	210	173	90	818
流行性耳下腺炎	33	20	23	6	3	182	0	33	43	191	0	267
(眼科定点数)	1		1		1			1	1	1		3
急性出血性結膜炎	0		1		0			0	1	0		1
流行性角結膜炎	12		3		11			12	3	11		26
(基幹病院定点数)	1	1	2	1	1	1	1	1	3	3	1	8
細菌性髄膜炎	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0	5
無菌性髄膜炎	0	0	18	0	0	0	0	0	18	0	0	18
マイコプラズマ肺炎	0	48	7	0	0	0	0	0	55	0	0	55
クラミジア肺炎	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	14,417	2,634	8,581	2,662	2,468	2,594	1,116	14,417	11,215	7,724	1,116	34,472
(インフルエンザ定点数)	11	3	9	3	5	5	2	11	12	13	2	38
インフルエンザ	648.5	471.0	522.8	465.0	371.0	363.2	361.0	648.5	509.8	389.7	361.0	501.1
(小児科定点数)	7	2	5	2	3	3	1	7	7	8	1	23
RSウイルス感染症	19.6	1.0	17.6	-	6.7	12.7	-	19.6	12.9	7.3	-	12.4
咽頭結膜熱	26.6	9.5	18.6	0.5	11.0	5.7	9.0	26.6	16.0	6.4	9.0	15.6
A群溶連菌咽頭炎	39.7	74.5	126.4	11.5	19.0	16.0	6.0	39.7	111.6	16.0	6.0	51.9
感染性胃腸炎	677.1	326.5	422.6	438.0	96.0	69.3	220.0	677.1	395.1	171.5	220.0	395.6
水痘	109.4	76.5	70.4	62.0	33.0	47.0	36.0	109.4	72.1	45.5	36.0	72.7
手足口病	51.6	32.5	26.0	43.5	8.7	13.7	15.0	51.6	27.9	19.3	15.0	31.5
伝染性紅斑	9.6	3.5	4.2	3.0	1.0	-	-	9.6	4.0	1.1	-	4.5
突発性発しん	51.0	25.5	46.0	24.0	13.3	19.7	18.0	51.0	40.1	18.4	18.0	34.9
百日咳	0.1	1.0	0.2	-	-	-	-	0.1	0.4	-	-	0.2
ヘルパンギーナ	49.3	26.0	31.6	48.0	11.0	14.7	90.0	49.3	30.0	21.6	90.0	35.6
流行性耳下腺炎	4.7	10.0	4.6	3.0	1.0	60.7	-	4.7	6.1	23.9	-	11.6
(眼科定点数)	1		1		1			1	1	1		3
急性出血性結膜炎	-		1.0		-			-	1.0	-		0.3
流行性角結膜炎	12.0		3.0		11.0			12.0	3.0	11.0		8.7
(基幹病院定点数)	1	1	2	1	1	1	1	1	3	3	1	8
細菌性髄膜炎	-	-	2.5	-	-	-	-	-	1.7	-	-	0.6
無菌性髄膜炎	-	-	9.0	-	-	-	-	-	6.0	-	-	2.3
マイコプラズマ肺炎	-	48.0	3.5	-	-	-	-	-	18.3	-	-	6.9
クラミジア肺炎	-	-	0.5	-	-	-	-	-	0.3	-	-	0.1

表8 5類定点報告疾患 月別報告状況(全県)

2009(平成21)年

(平成20年12月29日～平成21年1月3日)(1か月は4週に換算)

報告	定点数	疾患名\月 (月週数)	1 (5)	2 (4)	3 (4)	4 (5)	5 (4)	6 (4)	7 (5)	8 (4)	9 (5)	10 (4)	11 (4)	12 (5)	合計 (53)	実数
	報告 実数															
報告 実数	38	インフルエンザ	1,606	2,653	2,115	610	134	17	14	222	219	1,137	4,975	3,781	17,483	19,040
	23	RSウイルス感染症	60	22	12	3	2	0	0	0	1	8	47	91	246	285
		咽頭結膜熱	35	48	28	46	36	44	18	16	9	11	19	17	327	358
		A群溶連菌咽頭炎	94	94	114	84	118	124	83	46	54	69	130	84	1,094	1,193
		感染性胃腸炎	1,205	884	1,011	1,154	798	599	462	439	357	235	277	706	8,127	9,098
		水痘	133	141	156	154	178	163	87	52	51	81	150	175	1,521	1,671
		手足口病	18	23	18	14	7	19	69	153	109	110	85	38	663	725
		伝染性紅斑	3	8	9	25	11	10	11	9	2	1	3	2	94	104
		突発性発しん	58	55	58	66	50	63	87	74	46	69	54	47	727	803
		百日咳	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4	4
		ヘルパンギーナ	6	4	12	9	6	53	310	206	84	20	3	3	716	818
	流行性耳下腺炎	20	4	11	6	32	19	29	29	20	19	21	31	241	267	
	3	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
		流行性角結膜炎	1	0	4	2	2	0	2	1	6	3	1	2	24	26
8	細菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	5	5	
	無菌性髄膜炎	1	3	1	0	0	2	2	0	4	0	1	2	16	18	
	マイコプラズマ肺炎	6	4	2	2	2	11	12	4	5	1	0	0	49	55	
	クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	
72	合計	3,246	3,944	3,551	2,175	1,377	1,125	1,190	1,254	967	1,764	5,766	4,980	31,339	34,472	
定点 あたり 患者 数	38	インフルエンザ	42.3	69.8	55.7	16.1	3.5	0.4	0.4	5.8	5.8	29.9	130.9	99.5	460.1	501.1
	23	RSウイルス感染症	2.6	1.0	0.5	0.1	0.1	-	-	-	0.0	0.3	2.0	4.0	10.7	12.4
		咽頭結膜熱	1.5	2.1	1.2	2.0	1.6	1.9	0.8	0.7	0.4	0.5	0.8	0.7	14.2	15.6
		A群溶連菌咽頭炎	4.1	4.1	5.0	3.7	5.1	5.4	3.6	2.0	2.3	3.0	5.7	3.7	47.6	51.9
		感染性胃腸炎	52.4	38.4	44.0	50.2	34.7	26.0	20.1	19.1	15.5	10.2	12.0	30.7	353.3	395.6
		水痘	5.8	6.1	6.8	6.7	7.7	7.1	3.8	2.3	2.2	3.5	6.5	7.6	66.1	72.7
		手足口病	0.8	1.0	0.8	0.6	0.3	0.8	3.0	6.7	4.7	4.8	3.7	1.7	28.8	31.5
		伝染性紅斑	0.1	0.3	0.4	1.1	0.5	0.4	0.5	0.4	0.1	0.0	0.1	0.1	4.1	4.5
		突発性発しん	2.5	2.4	2.5	2.9	2.2	2.7	3.8	3.2	2.0	3.0	2.3	2.0	31.6	34.9
		百日咳	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	0.2	0.2
		ヘルパンギーナ	0.3	0.2	0.5	0.4	0.3	2.3	13.5	9.0	3.7	0.9	0.1	0.1	31.1	35.6
	流行性耳下腺炎	0.9	0.2	0.5	0.3	1.4	0.8	1.3	1.3	0.9	0.8	0.9	1.3	10.5	11.6	
	3	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	-	0.3	0.3
		流行性角結膜炎	0.3	-	1.3	0.7	0.7	-	0.7	0.3	2.0	1.0	0.3	0.7	8.0	8.7
8	細菌性髄膜炎	-	0.1	-	-	-	-	0.1	0.3	-	-	-	0.1	0.6	0.6	
	無菌性髄膜炎	0.1	0.4	0.1	-	-	0.3	0.3	-	0.5	-	0.1	0.3	2.0	2.3	
	マイコプラズマ肺炎	0.8	0.5	0.3	0.3	0.3	1.4	1.5	0.5	0.6	0.1	-	-	6.1	6.9	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	-	0.1	0.1	
72	合計	45.1	54.8	49.3	30.2	19.1	15.6	16.5	17.4	13.4	24.5	80.1	69.2	435.3	478.8	

5週ある月は 5週分の合計×0.8で算出

表9-1 5類定点報告疾患 月別報告状況(東部)

2009(平成21)年

(平成20年12月29日～平成21年1月3日)(1か月は4週に換算)

報告 実数	定点数	疾患名\月 (月週数)	1 (5)	2 (4)	3 (4)	4 (5)	5 (4)	6 (4)	7 (5)	8 (4)	9 (5)	10 (4)	11 (4)	12 (5)	合計 (53)	実数	
報告 実数	11	インフルエンザ	550	842	1,022	196	39	0	4	83	91	539	1,958	1,279	6,603	7,134	
	7	RSウイルス感染症	24	4	8	1	2	0	0	0	0	1	7	23	49	119	137
		咽頭結膜熱	19	25	14	23	24	28	11	7	5	3	4	6	169	186	
		A群溶連菌咽頭炎	21	32	22	30	36	30	10	10	13	8	22	22	256	278	
		感染性胃腸炎	626	497	602	546	387	304	259	279	198	151	148	268	4,265	4,740	
		水痘	49	51	81	90	93	60	40	23	34	49	62	66	698	766	
		手足口病	12	10	9	7	6	13	42	96	59	37	19	17	327	361	
		伝染性紅斑	2	3	5	12	8	8	10	8	2	0	2	1	61	67	
		突発性発しん	27	27	23	23	24	27	42	34	26	20	32	18	323	357	
		百日咳	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		ヘルパンギーナ	4	3	0	6	6	28	115	75	48	13	2	1	301	345	
		流行性耳下腺炎	1	0	3	3	2	7	2	6	1	2	1	2	30	33	
	1	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		流行性角結膜炎	1	0	1	1	0	0	1	0	2	2	1	2	11	12	
	1	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	合計	1,336	1,494	1,790	938	628	505	536	621	480	831	2,274	1,731	13,164	14,417	
	定点 あたり 患者 数	11	インフルエンザ	50.0	76.5	92.9	17.8	3.5	-	0.4	7.5	8.3	49.0	178.0	116.3	600.3	648.5
7		RSウイルス感染症	3.4	0.6	1.1	0.1	0.3	-	-	-	0.1	1.0	3.3	7.0	17.0	19.6	
		咽頭結膜熱	2.7	3.6	2.0	3.3	3.4	4.0	1.6	1.0	0.7	0.4	0.6	0.9	24.1	26.6	
		A群溶連菌咽頭炎	3.0	4.6	3.1	4.3	5.1	4.3	1.4	1.4	1.9	1.1	3.1	3.1	36.6	39.7	
		感染性胃腸炎	89.4	71.0	86.0	78.0	55.3	43.4	37.0	39.9	28.3	21.6	21.1	38.3	609.3	677.1	
		水痘	7.0	7.3	11.6	12.9	13.3	8.6	5.7	3.3	4.9	7.0	8.9	9.4	99.7	109.4	
		手足口病	1.7	1.4	1.3	1.0	0.9	1.9	6.0	13.7	8.4	5.3	2.7	2.4	46.7	51.6	
		伝染性紅斑	0.3	0.4	0.7	1.7	1.1	1.1	1.4	1.1	0.3	-	0.3	0.1	8.7	9.6	
		突発性発しん	3.9	3.9	3.3	3.3	3.4	3.9	6.0	4.9	3.7	2.9	4.6	2.6	46.1	51.0	
		百日咳	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	
		ヘルパンギーナ	0.6	0.4	-	0.9	0.9	4.0	16.4	10.7	6.9	1.9	0.3	0.1	43.0	49.3	
		流行性耳下腺炎	0.1	-	0.4	0.4	0.3	1.0	0.3	0.9	0.1	0.3	0.1	0.3	4.3	4.7	
1		急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		流行性角結膜炎	1.0	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	2.0	2.0	1.0	2.0	11.0	12.0	
1		細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20		合計	66.8	74.7	89.5	46.9	31.4	25.3	26.8	31.1	24.0	41.6	113.7	86.6	658.2	720.9	

5週ある月は 5週分の合計×0.8で算出

表9-2 5類定点報告疾患 月別報告状況(中部)

2009(平成21)年

(平成20年12月29日～平成21年1月3日)(1か月は4週に換算)

報告 実数	定点 数	疾患名\月 (月週数)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 (53)	実数		
			(5)	(4)	(4)	(5)	(4)	(4)	(5)	(4)	(5)	(4)	(4)	(5)				
報告 実数	12	インフルエンザ	359	769	653	218	40	8	2	85	30	326	1,959	1,214	5,663	6,118		
	7	RSウイルス感染症	28	17	3	1	0	0	0	0	0	0	0	5	23	77	90	
		咽頭結膜熱	14	15	6	13	6	12	4	6	2	7	12	6	103	112	112	
		A群溶連菌咽頭炎	65	51	67	41	74	74	67	33	38	54	99	53	716	781	781	
		感染性胃腸炎	362	252	269	424	241	125	115	83	86	57	86	335	2,435	2,766	2,766	
		水痘	38	57	48	38	60	51	19	11	11	25	48	58	464	505	505	
		手足口病	3	5	5	6	0	6	14	23	37	47	30	4	180	195	195	
		伝染性紅斑	1	3	1	12	2	1	1	1	0	1	1	1	25	28	28	
		突発性発しん	22	16	15	26	14	20	28	31	15	37	13	17	254	281	281	
		百日咳	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	3	3	
		ヘルパンギーナ	1	1	9	1	0	15	96	40	14	2	1	2	182	210	210	
		流行性耳下腺炎	2	0	3	1	3	2	8	2	4	5	4	5	39	43	43	
	1	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	
	流行性角結膜炎	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	3	3	
	3	細菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	5	5	5	
		無菌性髄膜炎	1	3	1	0	0	2	2	0	4	0	1	2	16	18	18	
		マイコプラズマ肺炎	6	4	2	2	2	11	12	4	5	1	0	0	49	55	55	
		クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	
	23	合計	902	1,194	1,083	783	443	328	373	322	246	562	2,259	1,721	10,216	11,215	11,215	
	定点 あたり 患者 数	12	インフルエンザ	29.9	64.1	54.4	18.2	3.3	0.7	0.2	7.1	2.5	27.2	163.3	101.2	471.9	509.8	
		7	RSウイルス感染症	4.0	2.4	0.4	0.1	-	-	-	-	-	-	0.7	3.3	11.0	12.9	12.9
			咽頭結膜熱	2.0	2.1	0.9	1.9	0.9	1.7	0.6	0.9	0.3	1.0	1.7	0.9	14.7	16.0	16.0
			A群溶連菌咽頭炎	9.3	7.3	9.6	5.9	10.6	10.6	9.6	4.7	5.4	7.7	14.1	7.6	102.3	111.6	111.6
感染性胃腸炎			51.7	36.0	38.4	60.6	34.4	17.9	16.4	11.9	12.3	8.1	12.3	47.9	347.9	395.1	395.1	
水痘			5.4	8.1	6.9	5.4	8.6	7.3	2.7	1.6	1.6	3.6	6.9	8.3	66.3	72.1	72.1	
手足口病			0.4	0.7	0.7	0.9	-	0.9	2.0	3.3	5.3	6.7	4.3	0.6	25.7	27.9	27.9	
伝染性紅斑			0.1	0.4	0.1	1.7	0.3	0.1	0.1	0.1	-	0.1	0.1	0.1	3.6	4.0	4.0	
突発性発しん			3.1	2.3	2.1	3.7	2.0	2.9	4.0	4.4	2.1	5.3	1.9	2.4	36.3	40.1	40.1	
百日咳			-	-	-	-	-	0.1	0.1	0.1	-	-	-	-	0.4	0.4	0.4	
ヘルパンギーナ			0.1	0.1	1.3	0.1	-	2.1	13.7	5.7	2.0	0.3	0.1	0.3	26.0	30.0	30.0	
流行性耳下腺炎			0.3	-	0.4	0.1	0.4	0.3	1.1	0.3	0.6	0.7	0.6	0.7	5.6	6.1	6.1	
1		急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	
流行性角結膜炎		-	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	3.0	3.0	3.0	
3		細菌性髄膜炎	-	0.3	-	-	-	-	0.3	0.7	-	-	-	0.3	1.7	1.7	1.7	
		無菌性髄膜炎	0.3	1.0	0.3	-	-	0.7	0.7	-	1.3	-	0.3	0.7	5.3	6.0	6.0	
		マイコプラズマ肺炎	2.0	1.3	0.7	0.7	0.7	3.7	4.0	1.3	1.7	0.3	-	-	16.3	18.3	18.3	
		クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	-	0.3	0.3	0.3	
23		合計	39.2	51.9	47.1	34.0	19.3	14.3	16.2	14.0	10.7	24.4	98.2	74.8	444.2	487.6	487.6	

5週ある月は 5週分の合計×0.8で算出

表9-3 5類定点報告疾患 月別報告状況(西部)

2009(平成21)年

(平成20年12月29日～平成21年1月3日)(1か月は4週に換算)

報告 実数	定点数	疾患名\月 (月週数)	1 (5)	2 (4)	3 (4)	4 (5)	5 (4)	6 (4)	7 (5)	8 (4)	9 (5)	10 (4)	11 (4)	12 (5)	合計 (53)	実数	
報告 実数	13	インフルエンザ	670	912	378	171	48	9	7	45	93	165	999	1,067	4,564	5,066	
	8	RSウイルス感染症	8	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	19	19	51	58
		咽頭結膜熱	2	8	8	7	3	4	1	3	2	1	3	5	47	51	
		A群溶連菌咽頭炎	7	9	25	14	8	19	6	3	3	6	9	10	119	128	
		感染性胃腸炎	173	114	133	160	150	132	76	72	67	23	35	94	1,229	1,372	
		水痘	46	28	26	22	24	40	23	14	6	7	40	52	328	364	
		手足口病	2	8	4	2	1	0	10	34	12	26	28	17	144	154	
		伝染性紅斑	1	2	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	9	9	
		突発性発しん	8	12	15	15	11	14	17	9	5	11	9	8	134	147	
		百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ヘルパンギーナ	1	0	3	1	0	10	50	63	22	5	0	0	155	173	
	流行性耳下腺炎	18	4	5	2	27	10	18	21	15	12	16	24	172	191		
	1	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎		0	0	2	1	1	0	1	1	3	1	0	0	10	11		
3	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
25	合計	936	1,098	603	398	274	239	209	265	228	258	1,158	1,296	6,962	7,724		
定点 あたり 患者 数	13	インフルエンザ	51.5	70.2	29.1	13.2	3.7	0.7	0.5	3.5	7.2	12.7	76.8	82.1	351.1	389.7	
	8	RSウイルス感染症	1.0	0.1	0.1	0.3	-	-	-	-	-	-	0.1	2.4	2.4	6.4	7.3
		咽頭結膜熱	0.3	1.0	1.0	0.9	0.4	0.5	0.1	0.4	0.3	0.1	0.4	0.6	5.9	6.4	
		A群溶連菌咽頭炎	0.9	1.1	3.1	1.8	1.0	2.4	0.8	0.4	0.4	0.8	1.1	1.3	14.9	16.0	
		感染性胃腸炎	21.6	14.3	16.6	20.0	18.8	16.5	9.5	9.0	8.4	2.9	4.4	11.8	153.6	171.5	
		水痘	5.8	3.5	3.3	2.8	3.0	5.0	2.9	1.8	0.8	0.9	5.0	6.5	41.0	45.5	
		手足口病	0.3	1.0	0.5	0.3	0.1	-	1.3	4.3	1.5	3.3	3.5	2.1	18.0	19.3	
		伝染性紅斑	0.1	0.3	0.4	0.1	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	1.1	1.1	
		突発性発しん	1.0	1.5	1.9	1.9	1.4	1.8	2.1	1.1	0.6	1.4	1.1	1.0	16.8	18.4	
		百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ヘルパンギーナ	0.1	-	0.4	0.1	-	1.3	6.3	7.9	2.8	0.6	-	-	19.4	21.6	
	流行性耳下腺炎	2.3	0.5	0.6	0.3	3.4	1.3	2.3	2.6	1.9	1.5	2.0	3.0	21.5	23.9		
	1	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	2.0	1.0	1.0	-	1.0	1.0	3.0	1.0	-	-	10.0	11.0		
3	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
25	合計	37.4	43.9	24.1	15.9	11.0	9.6	8.4	10.6	9.1	10.3	46.3	51.8	278.5	309.0		

5週ある月は 5週分の合計×0.8で算出

表9-4 5類定点報告疾患 月別報告状況(隠岐)

2009(平成21)年

(平成20年12月29日～平成21年1月3日)(1か月は4週に換算)

報告 実数	定点 数	疾患名\月 (月週数)	1 (5)	2 (4)	3 (4)	4 (5)	5 (4)	6 (4)	7 (5)	8 (4)	9 (5)	10 (4)	11 (4)	12 (5)	合計 (53)	実数	
報告 実数	2	インフルエンザ	27	130	62	25	7	0	1	9	6	107	59	220	653	722	
	1	RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		咽頭結膜熱	0	0	0	3	3	0	2	0	0	0	0	0	0	8	9
		A群溶連菌咽頭炎	1	2	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	6	6
		感染性胃腸炎	43	21	7	24	20	38	12	5	6	4	8	8	8	196	220
		水痘	0	5	1	5	1	12	5	4	1	0	0	0	0	34	36
		手足口病	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	8	1	1	14	15
		伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		突発性発しん	0	0	5	2	1	2	1	0	0	1	0	4	4	16	18
		百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ヘルパンギーナ	0	0	0	1	0	0	49	28	0	0	0	0	0	78	90
	流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	合計	71	158	75	60	32	53	75	46	14	113	75	233	1,005	1,116		
定点 あたり 患者 数	2	インフルエンザ	13.5	65.0	31.0	12.5	3.5	-	0.5	4.5	3.0	53.5	29.5	110.0	326.5	361.0	
	1	RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		咽頭結膜熱	-	-	-	3.0	3.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	8.0	9.0
		A群溶連菌咽頭炎	1.0	2.0	-	-	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	6.0	6.0
		感染性胃腸炎	43.0	21.0	7.0	24.0	20.0	38.0	12.0	5.0	6.0	4.0	8.0	8.0	8.0	196.0	220.0
		水痘	-	5.0	1.0	5.0	1.0	12.0	5.0	4.0	1.0	-	-	-	-	34.0	36.0
		手足口病	-	-	-	-	-	-	4.0	-	1.0	-	8.0	1.0	1.0	14.0	15.0
		伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		突発性発しん	-	-	5.0	2.0	1.0	2.0	1.0	-	-	1.0	-	4.0	4.0	16.0	18.0
		百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		ヘルパンギーナ	-	-	-	1.0	-	-	49.0	28.0	-	-	-	-	-	78.0	90.0
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0	急性出血性結膜炎															
		流行性角結膜炎															
	1	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	合計	17.8	39.5	18.8	15.0	8.0	13.3	18.8	11.5	3.5	28.3	18.8	58.3	251.3	279.0		

5週ある月は 5週分の合計×0.8で算出

表10 5類定点報告疾患の年齢別患者数の分布

2009(平成21)年 (平成20年12月29日～平成21年1月3日)

疾患	年齢別患者数																	合計
	6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	20歳～	40歳～	60歳～	80歳～		
インフルエンザ定点	6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	20歳～	40歳～	60歳～	80歳～	合計	
インフルエンザ	62	212	672	715	850	1,089	1,187	1,238	1,323	1,398	1,242	5,739	2,154	887	215	57	19,040	
小児科定点	6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	20歳～	合計				
RSウイルス感染症	98	50	81	26	11	3	1	0	0	0	0	4	11	285				
咽頭結膜熱	5	51	151	44	28	22	13	9	8	4	3	5	15	358				
A群溶連菌咽頭炎	0	4	22	73	144	179	182	146	99	76	50	112	106	1,193				
感染性胃腸炎	166	791	1,987	1,152	815	773	650	491	366	356	259	842	450	9,098				
水痘	38	128	548	416	237	122	81	35	19	11	9	16	11	1,671				
手足口病	4	74	315	171	78	34	16	11	3	5	6	7	1	725				
伝染性紅斑	0	5	8	9	11	19	17	13	7	5	7	1	2	104				
突発性発しん	21	456	308	11	4	0	0	1	0	0	1	0	0	802				
百日咳	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4				
ヘルパンギーナ	13	110	268	173	111	51	56	17	7	2	2	5	3	818				
流行性耳下腺炎	0	0	8	29	37	48	57	23	26	18	7	11	3	267				
眼科定点	6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	20歳～	40歳～	60歳～	80歳～	合計	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	10	8	3	0	26	
基幹病院定点	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳～	合計	
細菌性髄膜炎	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	
無菌性髄膜炎	2	2	2	3	2	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	2	18	
マイコプラズマ肺炎	0	30	10	10	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	2	55	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
インフルエンザ定点	6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	20歳～	40歳～	60歳～	80歳～		
インフルエンザ	0.3	1.1	3.5	3.8	4.5	5.7	6.2	6.5	6.9	7.3	6.5	30.1	11.3	4.7	1.1	0.3		
小児科定点	6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	20歳～					
RSウイルス感染症	34.4	17.5	28.4	9.1	3.9	1.1	0.4	-	-	-	-	1.4	3.9					
咽頭結膜熱	1.4	14.2	42.2	12.3	7.8	6.1	3.6	2.5	2.2	1.1	0.8	1.4	4.2					
A群溶連菌咽頭炎	-	0.3	1.8	6.1	12.1	15.0	15.3	12.2	8.3	6.4	4.2	9.4	8.9					
感染性胃腸炎	1.8	8.7	21.8	12.7	9.0	8.5	7.1	5.4	4.0	3.9	2.8	9.3	4.9					
水痘	2.3	7.7	32.8	24.9	14.2	7.3	4.8	2.1	1.1	0.7	0.5	1.0	0.7					
手足口病	0.6	10.2	43.4	23.6	10.8	4.7	2.2	1.5	0.4	0.7	0.8	1.0	0.1					
伝染性紅斑	-	4.8	7.7	8.7	10.6	18.3	16.3	12.5	6.7	4.8	6.7	1.0	1.9					
突発性発しん	2.6	56.9	38.4	1.4	0.5	-	-	0.1	-	-	0.1	-	-					
百日咳	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0					
ヘルパンギーナ	1.6	13.4	32.8	21.1	13.6	6.2	6.8	2.1	0.9	0.2	0.2	0.6	0.4					
流行性耳下腺炎	-	-	3.0	10.9	13.9	18.0	21.3	8.6	9.7	6.7	2.6	4.1	1.1					
眼科定点	6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	20歳～	40歳～	60歳～	80歳～		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-		
流行性角結膜炎	-	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	11.5	38.5	30.8	11.5	-		
基幹病院定点	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳～		
細菌性髄膜炎	20.0	40.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0		
無菌性髄膜炎	11.1	11.1	11.1	16.7	11.1	5.6	-	-	5.6	5.6	5.6	-	5.6	-	-	11.1		
マイコプラズマ肺炎	-	54.5	18.2	18.2	-	-	-	-	3.6	1.8	-	-	-	-	-	3.6		
クラミジア肺炎	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

表11 性感染症(STD)の年次別患者数(全県) 2003(平成15)年～2009(平成21)年

	疾患名	月												計	一定点あたり 年間平均
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
2003年 (H15)	性器クラミジア 感染症	7	12	7	11	13	17	14	10	12	14	10	16	143	23.8
	性器ヘルペスウィ ルス感染症	2	1	0	1	-	5	3	2	3	-	2	2	21	3.5
	尖圭コンジロー マ	0	0	0	2	1	1	-	2	1	2	1	2	12	2.0
	淋菌感染症	5	13	4	5	10	6	7	18	12	13	7	8	108	18.0
2004年 (H16)	性器クラミジア 感染症	7	6	6	8	8	14	19	21	11	17	16	10	143	23.8
	性器ヘルペスウィ ルス感染症	0	0	4	-	3	-	3	2	1	-	-	1	14	2.3
	尖圭コンジロー マ	1	2	3	-	1	2	-	6	-	-	1	-	16	2.7
	淋菌感染症	8	5	4	3	5	10	5	7	7	7	4	7	72	12.0
2005年 (H17)	性器クラミジア 感染症	18	12	8	10	11	17	15	15	10	6	6	12	140	23.3
	性器ヘルペスウィ ルス感染症	4	1	0	1	1	1	4	2	-	4	2	3	23	3.8
	尖圭コンジロー マ	1	3	1	-	2	1	2	2	5	3	7	2	29	4.8
	淋菌感染症	9	7	8	7	16	5	7	5	9	10	9	9	101	16.8
2006年 (H18)	性器クラミジア 感染症	13	7	6	11	4	9	8	8	6	11	10	4	97	16.2
	性器ヘルペスウィ ルス感染症	1	4	0	1	4	-	2	2	1	2	3	2	22	3.7
	尖圭コンジロー マ	2	2	0	1	1	1	3	1	1	2	2	-	16	2.7
	淋菌感染症	7	5	4	5	3	4	6	10	7	6	5	3	65	10.8
2007年 (H19)	性器クラミジア 感染症	8	7	6	6	13	15	16	8	13	14	15	8	129	21.5
	性器ヘルペスウィ ルス感染症	2	0	0	4	-	4	2	3	3	4	1	1	24	4.0
	尖圭コンジロー マ	1	0	1	5	3	5	3	1	1	2	1	3	26	4.3
	淋菌感染症	7	9	6	3	6	9	3	6	9	8	5	7	78	13.0
2008年 (H20)	性器クラミジア 感染症	10	11	11	16	9	13	13	8	7	17	12	12	139	23.2
	性器ヘルペスウィ ルス感染症	4	1	2	2	3	3	-	1	2	2	-	2	22	3.7
	尖圭コンジロー マ	2	1	2	2	2	2	2	3	3	1	2	-	22	3.7
	淋菌感染症	11	3	6	6	5	3	5	7	1	6	6	12	71	11.8
2009年 (H21)	性器クラミジア 感染症	4	7	7	12	11	10	12	10	12	10	8	6	109	18.2
	性器ヘルペスウィ ルス感染症	5	3	1	4	1	1	4	1	-	2	-	2	24	4.0
	尖圭コンジロー マ	4	1	3	-	1	1	-	-	3	3	4	9	29	4.8
	淋菌感染症	4	2	3	6	4	5	5	6	2	5	3	5	50	8.3

表12 性感染症定点報告(圏域・地区別・年齢別) 2009(平成21)年

区分	県			圏域別							地区別			
	合計	男	女	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	東部	中部	西部	隠岐
STD定点	6			2		2		1	1		2	2	2	-
性器クラミジア感染症	109	男 66 女 43	17 29	・ ・	24 6	・ ・	25 -	- 8	・ ・	17 29	24 6	25 8	・ ・	
性器ヘルペスウイルス感染症	24	男 11 女 13	9 4	・ ・	- 1	・ ・	2 1	- 7	・ ・	9 4	- 1	2 8	・ ・	
尖圭コンジローマ	29	男 14 女 15	10 1	・ ・	- 1	・ ・	4 -	- 13	・ ・	10 1	- 1	4 13	・ ・	
淋菌感染症	50	男 43 女 7	9 7	・ ・	12 -	・ ・	22 -	- -	・ ・	9 7	12 -	22 -	・ ・	

区分	県			年齢区分									
	合計	男	女	0～	10～	15～	20～	25～	30～	40～	50～	60～	70～
性器クラミジア感染症	109	男 66 女 43	- -	- -	5 8	14 12	15 14	25 7	5 1	2 1	- -	- -	
性器ヘルペスウイルス感染症	24	男 11 女 13	- -	- -	1 1	3 3	- -	1 2	3 2	2 1	2 2	2 1	
尖圭コンジローマ	29	男 14 女 15	- -	- -	- 2	1 1	2 3	7 2	1 5	2 1	1 -	- 1	
淋菌感染症	50	男 43 女 7	- -	- -	1 -	9 -	8 3	13 3	12 -	- 1	- -	- -	

表13 性感染症定点報告(月別) 2009(平成21)年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	定点 当たり /月	定点当 たり /年
性器クラミジア感染症	4	7	7	12	11	10	12	10	12	10	8	6	109	1.5	18.2
性器ヘルペスウイルス感染症	5	3	1	4	1	1	4	1	-	2	-	2	24	0.3	4.0
尖圭コンジローマ	4	1	3	-	1	1	-	-	3	3	4	9	29	0.4	4.8
淋菌感染症	4	2	3	6	4	5	5	6	2	5	3	5	50	0.7	8.3

表14 基幹病院定点報告(圏域・地区別) 2009(平成21)年

区分	県			圏域別							地区別			
	合計	男	女	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	東部	中部	西部	隠岐
基幹病院定点数	8			1	1	2	1	1	1	1	1	3	3	1
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感 染症	507	348	159	160	22	104	23	-	195	3	160	126	218	3
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	14	5	9	4	1	1	-	-	7	1	4	2	7	1
薬剤耐性 緑膿菌感染症	3	2	1	-	-	2	1	-	-	-	-	2	1	-

区分	合計	年齢区分									
		0歳	1～	5～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感 染症	507	4	4	1	3	6	5	9	33	68	374
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	14	2	5	1	-	-	-	-	-	1	5
薬剤耐性 緑膿菌感染症	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

表15 基幹病院定点報告(月別) 2009(平成21)年 1月～12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	定点当 たり /月	定点当 たり /年
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感 染症	43	49	49	40	43	40	45	42	33	34	46	43	507	5.3	63.4
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	2	1	-	1	2	2	2	2	2	-	-	-	14	0.1	1.8
薬剤耐性 緑膿菌感染症	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.0	0.4

表16 基幹病院定点の年次別圏域別報告数（2002年～2009年）

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

	合計	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐
2002年	397	86	0	105	65	1	121	19
2003年	627	91	0	207	82	0	235	12
2004年	621	66	2	177	99	0	270	7
2005年	562	62	4	167	71	0	249	9
2006年	482	120	1	151	29	0	156	25
2007年	580	153	0	141	27	0	232	27
2008年	593	198	9	138	61	0	177	10
2009年	507	160	22	104	23	0	195	3

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

	合計	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐
2002年	223	86	39	0	0	0	98	0
2003年	244	80	21	0	0	0	143	0
2004年	216	43	3	2	1	0	167	0
2005年	172	86	1	0	0	0	85	0
2006年	101	54	1	1	0	0	45	0
2007年	159	105	1	4	0	0	49	0
2008年	81	44	8	1	0	0	28	0
2009年	14	4	1	1	0	0	7	1

薬剤耐性緑膿菌感染症

	合計	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐
2002年	2	0	0	1	0	0	0	1
2003年	1	0	0	0	0	0	0	1
2004年	6	0	0	3	0	0	3	0
2005年	13	0	0	4	2	0	7	0
2006年	12	0	1	1	0	0	2	8
2007年	4	0	0	2	0	0	1	1
2008年	10	0	2	2	2	0	3	1
2009年	3	0	0	2	1	0	0	0